

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : コージライト SCR01  
 会社名 : 株式会社ソディック エフ・ティ  
 住所 : 〒922-0336 石川県加賀市八日市町ホ 49-1  
 担当部門 : 製造部  
 電話番号 : 0761-74-1119  
 FAX 番号 : 0761-74-1841  
 緊急連絡電話番号 : 0761-74-1119  
 推奨用途及び使用上の制限 : 低熱膨張材等

## 2. 危険有害性の要約

### 【GHS分類】※製品組成及び成分情報による分類

物理化学的危険性 : 可燃性固体 ; 区分外  
 健康有害性 : 急性毒性(経口) ; 区分外  
                   急性毒性(経皮) ; 分類できない  
                   急性毒性(吸入) ; 分類できない  
                   皮膚腐食性及び刺激性 ; 分類できない  
                   眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ; 区分2B  
                   呼吸器感作性 ; 分類できない  
                   皮膚感作性 ; 分類できない  
                   生殖細胞変異原性 ; 分類できない  
                   発がん性 ; 分類できない  
                   生殖毒性 ; 分類できない  
                   特定標的臓器毒性(単回ばく露) ; 区分3(気道刺激性)  
                   特定標的臓器毒性(反復ばく露) ; 区分1(肺)  
                   吸引性呼吸器有害性 ; 分類できない  
 環境有害性 : 水生環境有害性(急性) ; 分類できない  
                   水生環境有害性(長期間) ; 分類できない  
                   オゾン層への有害性 ; 分類できない

### 【GHSラベル要素】

	原料および加工で生じる粉塵等	製品
絵表示又はシンボル	: 	該当なし
注意喚起語	: 危険	該当なし

## 2. 危険有害性の要約（続き）

	原料および加工で生じる粉塵等	製品
危険有害性情報	: ・眼刺激。 ・呼吸器への刺激のおそれ。 ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肺)の障害。	該当なし
注意書き：		
〔安全対策〕	: ・取扱い後は手及び眼をよく洗うこと。 ・粉じんの吸入を避けること。 ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 ・粉じんを吸入しないこと。 ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。	・全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
〔応急措置〕	: ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ・眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。 ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ・気分が悪いときは医師に連絡すること。 ・気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。	
〔保管〕	: ・施錠して保管すること。 ・換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。	
〔廃棄〕	: ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。	

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分	濃度範囲(%)	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
酸化アルミニウム	30～40	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	1-23（化審法・安衛法）	1344-28-1
二酸化珪素	45～55	SiO <sub>2</sub>	1-548（化審法・安衛法）	7631-86-9
酸化マグネシウム	10～20	MgO	1-465（化審法・安衛法）	1309-48-4

## 4. 応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移動させ、体を毛布等で覆って保温し安静に保つ。  
呼吸困難に陥った場合は、衣類を緩め気道を確保した上で酸素吸入あるいは人工呼吸を施す。  
直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。  
付着した部分は流水で流した後、石けんを用いてよく洗い落とす。  
直ちに医師の診察を受ける。

#### 4. 応急措置(続き)

- 眼に入った場合 : 清浄な多量の水で最低 15 分間眼を洗浄した後、眼科医の手当を受ける。  
洗眼の際、まぶたを指でよく開き、眼球のすみずみまでよく水が行きわたるように眼を上下左右に動かす。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をすすぎ、無理に吐かせてはならない。  
嘔吐が自然に起こった場合は、気管に入らないように身体を傾ける。  
直ちに医師の手当てを受ける。

#### 5. 火災時の措置

- この製品自体は不燃性であるが、容器/包装等が燃えた場合は、通常の方法で消火する。
- 消火剤 : 水、炭酸ガス、泡、粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 火災時の特有の危険有害性 : 有毒なヒュームが発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 通常の方法で消火可能。  
周辺火災の場合は、周辺の設備などに散水して冷却する。  
移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。  
消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は必ず自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から行う。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。  
風下で回収作業をしてはならない。  
回収作業の際には保護具を着用すること。
- 環境に対する注意事項 : 粉じんの大気中への飛散、土壌への浸入、下水、河川、排水溝等への流出を防ぐ。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 周辺の裸火を消し、静電気や火花が発生する器具類を停止させる。  
ホウキ等で掃き集め、空容器に回収する。  
粉じんが飛散するおそれがある場合は、防爆型の掃除機や集塵装置を用いて吸引する。  
回収物は「13.廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 粉じんを発生させない。  
密閉された装置/機器類を使用するか、局所排気装置を使用して取扱う。  
製品の加工によって発生する粉じんの吸入及び皮膚との接触は極力避ける。  
ばく露のおそれがある場合には、適切な保護具を着用する。  
長期間の取り扱い、あるいは反復したばく露はできる限り避ける。  
作業後は石けんを用いて手洗いや洗顔を励行する。
- 保管 : 屋内に保管する、多湿条件での保管をしない。  
高温、多湿、直射日光を避けて保管する。  
強酸から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 設備／装置全体を密閉化するか、局所排気装置を設置する。  
取扱い場所近くに、洗眼器および身体洗浄シャワーを設置する。  
状況に応じて、可燃性ガス・有毒ガス測定器、可燃性ガス警報器を設置する。
- 管理濃度 作業環境評価基準 : 切断、加工等で粉じんが発生する場合は、粉じんの管理が必要である。  
土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じんの管理濃度は、下記の計算式を用いる。  
(計算式)  $E=3.0 / (1.19Q+1)$   
※E=粉塵管理濃度(mg/m<sup>3</sup>)、Q=当該粉じんの遊離けい酸濃度
- 許容濃度  
日本産業衛生学会<sup>1)</sup> : (第1種粉塵として) 0.5 mg/m<sup>3</sup>(吸入性粉塵), 2 mg/m<sup>3</sup>(総粉塵)  
(酸化アルミニウム)  
(第2種粉塵として) 1 mg/m<sup>3</sup>(吸入性粉塵), 4 mg/m<sup>3</sup>(総粉塵)  
(二酸化珪素)  
ACGIH-TLV<sup>2)</sup> : (TWA) 1 mg/m<sup>3(R)</sup> (アルミニウム金属及び不溶性化合物)  
(TWA) 10 mg/m<sup>3(1)</sup> (酸化マグネシウム)  
(TWA) : 時間荷重平均値(8時間)
- 保護具  
呼吸用保護具 : 防塵マスク(RS1, RS2, RS3, DS1, DS2, DS3)、送気マスク、  
空気呼吸器等  
手の保護具 : 保護手袋(ゴム製、軍手)  
目の保護具 : 保護眼鏡又は防災面  
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、保護長靴、前掛け、長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外 観 : 白色の固体  
臭 い : 無臭  
沸 点 : データなし  
引 火 点 : データなし  
燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : データなし  
蒸 気 圧 : データなし  
比 重 : 2.5 g/cm<sup>3</sup>  
発火温度 : データなし  
溶 解 度 : 水に不溶  
(参考データ)<sup>3)</sup>  
沸 点 : 3000°C(酸化アルミニウム)、3600°C(酸化マグネシウム)  
融点・凝固点 : 2054°C(酸化アルミニウム)、2800°C(酸化マグネシウム)

## 10. 安定性及び反応性

- 安 定 性 : 通常の実験条件においては安定。  
危険有害反応可能性 : 混触危険物質に触れると反応するおそれがある。  
避けるべき条件 : 直射日光、高温、多湿  
混触危険物質 : 強酸  
危険有害な分解生成物 : 特になし

## 1 1. 有害性情報

### 急性毒性

- [経口毒性] : 製品のGHS分類結果(区分外)  
酸化アルミニウム ラット LD<sub>50</sub> >5000 mg/kg<sup>4)</sup> LD<sub>50</sub>:半数致死用量
- [経皮毒性] : 製品のGHS分類結果(分類できない);成分のデータなし
- [吸入毒性] : 製品のGHS分類結果(分類できない);成分のデータなし
- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 製品のGHS分類結果(分類できない);成分のデータなし
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 製品のGHS分類結果(区分2 B)  
二酸化珪素 ウサギを用いた皮膚刺激性試験において軽度の刺激性を示した。<sup>5)</sup>
- 呼吸器感作性 : 製品のGHS分類結果(分類できない);成分のデータなし
- 皮膚感作性 : 製品のGHS分類結果(分類できない);成分のデータなし
- 生殖細胞変異原性 : 製品のGHS分類結果(分類できない);成分のデータなし
- 発がん性<sup>2)</sup> : 製品のGHS分類結果(分類できない)  
酸化アルミニウム ACGIH:A4 (発がん性物質として分類できない)  
二酸化珪素 IARC:3 (ヒト発がん性について分類できない)  
酸化マグネシウム ACGIH:A4 (発がん性物質として分類できない)
- 生殖毒性 : 製品のGHS分類結果(分類できない);成分のデータなし
- 特定標的臓器(単回ばく露) : 製品のGHS分類結果(区分3(気道刺激性))  
酸化アルミニウム 呼吸器を刺激するおそれがある。<sup>4)</sup>
- 特定標的臓器(反復ばく露) : 製品のGHS分類結果(区分1)  
酸化アルミニウム 肺への障害が報告されている。<sup>4)</sup>
- 吸引性呼吸器有害性 : 製品のGHS分類結果(分類できない);成分のデータなし

## 1 2. 環境影響情報

- 生態毒性 : 製品のGHS分類結果(分類できない);成分のデータなし
- 残留性・分解性 : データなし
- 生体蓄積性 : データなし
- 土壤中の移動性 : データなし
- オゾン層への有害性 : データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 下水、河川、排水溝等の環境中へ廃棄しないこと。  
多量の場合は認可を受けた専門業者に委託する。  
関係法令を遵守し、自治体の指示に従うこと。
- 汚染容器及び包装 : 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

## 1 4. 輸送上の注意

- 国連番号 : 非該当
- 品名(国連輸送名) : 非該当
- 国連分類 : 非該当
- 容器等級 : 非該当
- 応急措置指針番号 : なし
- 海洋汚染物質 : 非該当

#### 1 4. 輸送上の注意(続き)

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

- : 車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書(イエローカード)を渡す。
- 容器の破損、洩れ、栓の閉まり具合を確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
- 「7. 取り扱い及び保管上の注意」の記載に準じて取扱う。
- 輸送関係法規を厳守する。

#### 1 5. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(酸化アルミニウム、シカ)  
(※酸化アルミニウム、シカは平成 28 年 6 月 1 日施行)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(酸化アルミニウム、シカ)  
粉じん障害防止規則  
(※粉じんが発生する場合は、該当する可能性がある)
- 水質汚濁防止法 : 指定物質(アルミニウム及びその化合物)

以下の法律には規制されない。

消防法、化審法(優先評価化学物質、特定化学物質)、毒劇物取締法、労働安全衛生法(危険物、鉛則、有機則、変異原性が認められた化学物質)、化学物質排出把握管理促進法、船舶安全法、港則法、航空法

#### 1 6. その他の情報

引用文献：

- 1) 「許容濃度等の勧告(2015年度)」；産業衛生学雑誌 57巻
- 2) 2015 Guide to Occupational Exposure Values (ACGIH)
- 3) 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版(国立医薬品食品衛生研究所(NIHS))
- 4) GHS分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- 5) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (CCOHS)

初回作成	2016年(平成28年)5月11日	-
------	-------------------	---

記載内容問い合わせ先 : 株式会社ソディック エフ・ティ 製造部  
電話番号 0761-74-1119

ここに記載された情報は、弊社データを含め種々の技術出版物にあるデータに従ったものです。必要かつ安全な取扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決め下さい。なお、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成されたものですが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂がありうることをご承知下さい。